



# 清水けんいち 市政レポート

政策討議資料

## 第6号

2008年10月

### (ご挨拶)

皆様の、御支援・御協力に心より感謝申し上げます。深谷市議会議員として2年目を迎えたわけですが、初心を忘れることなく、日々、市民の皆様のため、深谷市発展のため精進しております。

日頃の議員活動並びに市政報告を、多くの市民の皆様にご報告し開かれた政治にするため、市政レポート第6号を発刊させていただきました。

これからも市民の皆様のご意見を聞かせていただき、「住みやすい・暮らしやすい・子育てしやすい街」深谷市の実現に向けて活動して参ります。

今後とも皆様のご支援・御協力を宜しくお願い申し上げます。

### (ご報告)

深谷市議会 平成20年度第3回定例会9月議会が終了しました。

#### 主な議案

- ・平成19年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定について
- ・平成20年度一般会計補正予算(第1号)
- (他24議案、請願が3本)

#### 決算認定反対! (平成19年度深谷市一般会計歳入歳出決算認定)

私は、平成19年度一般会計歳入歳出決算認定に反対しました。理由は、平成20年6月27日、深谷市上野台に住む、韓国籍の元暴力団組員(以下「夫」と)と妻による深谷市生活保護費不正事件が発覚し夫婦が警察に逮捕されました。そして警察が捜査を進めていく中で市職員の不適切な事務処理が明らかになり、裁判では裁判官・検察側・弁護側の三者に深谷市の5年間に渡る不適切な事務処理が、この事件を助長してしまったと指摘されました。

そのような折に、国や市への税金を使わない弁済方法も決まっていな中、平成19年度の決算を認定する訳にはいきません。まして、この19年度決算の中には不正に支給された約422万円の税金も含まれているのです。

#### 深谷市生活保護費不正事件の概要

この事件は、マスコミ報道で議員や市民の皆様にも明らかになった事件です。それまでの議会では深谷市の生活保護費に関して「何か起きている」という噂があったものの、議会でも取り上げると警察の捜査中とかという説明で公表されませんでした。突然の容疑者逮捕という報道で、「市役所全体がバタバタ」してしまいました。

逮捕容疑は、行ってもない群馬県の施術院(マッサージ)に行くと領収書を偽造し、タクシー代などを不正に受取っていたという生活保護法違反事件です(本来は詐欺罪)。市の職員は度重なる元暴力団組員である夫から恫喝され、支給し続けてしまったということです。

逮捕当日の午後からは全議員への説明会が行なわれましたが、指揮監督責任者である市長並びに副市長の姿はなく、福祉部長の説明では「市は被害者である」と言う説明がされました。記者会見でも同様の発言をして、新聞の全国版に掲載、TVの全国ニュースでも放送され、抗議の電話が市役所に相次ぎました。

#### 生活保護費だけではなかった!(障害者福祉サービス事業でも)

夫は、平成14年5月に熊谷市内で交通事故に遭い、身体に障害を負い平成14年7月に特殊便器設置を要望し、埼玉県が交付する身体障害者手帳を取得申請するために、深谷市福祉事務所を始め訪れた。その際、特殊便器の設置は身体障害者手帳取得者が対

象であると断ると、夫から最初の恫喝があった。平成14年10月3日、身体障害者手帳の交付を受けていないと知りながらも、夫の要望を受け入れてしまった。(明らかな違反行為)その後、1度認めてしまった違反行為がエスカレートし、市内での2度の引越しにより、浴室関係で183万円、トイレ関係で86万円、歩行支援用具で24万円が支給されていた。しかも、それぞれ現地も確認しないで支給していることは、血税である公金に対する認識に著しく欠け、障害者福祉サービス事業の中でも生活保護費と同様に、重複支給を見逃す等の確認を怠っているものがほとんどである。確認がなされていれば、障害者福祉サービス事業で不正に支給された約380万円の中からも返還請求できたものがあつたはずである。その頃から市職員による申請書及び領収書の代筆や代理押印が始まり、本来、業者に支払うべきお金を、立替えたと言主張する夫に現金で支給することが常態化してしまい、それも自宅まで届けるという始末であった。今回の生活保護費不正支給事件の発端は、夫婦が生活保護費を受給し始めた平成15年1月以前に、夫が深谷市福祉事務所から受給した障害者福祉サービス事業での給付であり、今回の事件の縮図である。



▲生活保護費不正事件の夫が所有していたとされる車(他にベンツも所有していた)

#### 総額 約2,324万円を支給

生活保護費約1,944万円に障害者福祉サービス事業で夫に給付した約380万円を加えると約2,324万円の公金を夫婦に支給することになる。5年間の支給と計算すると1年の平均支給額は約464万円となるが、後で明らかにされた事実では、夫は平成17年1月14日に逮捕され(覚せい剤取締法違反)平成18年6月29日まで服役していたので、4年間での年平均支給額は約581万円となる。生活保護費は、弱者救済を目的とし国民や市民の貴重な税金で賄われている。不正に支給された金額の大きさ、そして、その血税が暴力団組員である夫に支給され、暴力団組織の資金源になっていた可能性が高いこと、夫の覚せい剤購入費に使われていた可能性が極めて高いことを考えると到底許すことの出来ない事件である。

生活保護費不正事件の検証並びに再発防止策の提言については、私もメンバーになっております「深谷市生活保護費不正事件・議員検証チーム」として行なわせていただきますので、このレポートでは差し控えさせていただきます。

#### 清水の私見



市の職員の大半は、市民への奉仕者であるという気概を持ち、市民の皆様のために日夜、汗を流し、一所懸命に働いている方々です。しかし一部の職員により、今回の生活保護費不正事件や山の家公金横領事件が起こってしまったことは誠に残念であり、議員として市民の皆様に対して申し訳なく、心よりお詫び申し上げます。今回の生活保護費不正事件並びに障害者福祉サービス事業での不正事件により、本当に必要としている生活困窮者の方や障害を持たれている方への様々な支給が実施されなかったり、遅れたりすることが絶対にないように監視を強めて参ります。何か市の対応で不適切なことがありましたら是非ご連絡下さい。



# 9月16日 清水健一の 一般質問と答弁(要約)

3月、6月議会に引き続き、  
今回も1番バッターとして登壇しました。

## 「現成公案」(げんじょうこうあん)



道元禅師の言葉です。  
目の前にある現実の事柄に、毎日、真面目に一所懸命に取り組んでいけば、「公案」、つまり人生最大の目的は達せられる。という教えです。  
この言葉を信じて、これからも真面目に一所懸命に取り組んでまいります。

皆さん、おはようございます。議席番号3番 清水健一です。発言通告書に基づき一般質問をさせていただきます。

### 緊急経済政策について

国では、世界的な原油高や食糧価格の高騰が「長期にわたって継続する」との見方がされ、影響を被る国民の痛みや不安を和らげる施策を打ち出すべきと、臨時国会を開き、総合経済対策を打ち出すと言われております。埼玉県内7月の、企業経営動向調査でも、全ての企業が景気はマイナスと答えております。この状況は2002年10月以来であり、大変危機的な状況であります。

### 影響を被る市民の痛みや、不安を和らげるために！

**質問** 学校給食の食材費補助などの考えは、ないのかについて質問します。

例えば、農家の方が丹精・込めて作った野菜などの食材を、市が一括購入することにより、購入価格が安く抑えられ、農家の方は安定収入が見込める。農業支援、地産地消、地域の活性化、少子化対策にも繋がるとは思います。考えを聞かせて下さい。

**答弁** 学校給食は、各学校で同じ日に同じメニューという体制をとっておりません、それは食中毒などへの対応としてやっていますので食材の一括購入は難しいです。

**再質問** 他の市町では、農家からの食材一括購入を実現するために市内の学校給食を4分割し、メニューを合わせることで実現しております。農家の方の高齢化が進み出荷等の苦労を軽減し、梱包費や配送費を削減できて学校給食費が安く抑えることができれば子育て世代の家計は助かります。そうした試みが近隣の街に住む子育て世代が、「子育てするなら深谷市で」ということになれば人口も増えて税収も上がり、街が活性化されます。是非、教育委員会が主導を取って研究していただきたい。

**再答弁** 燃料費の高騰や食材費の高騰で、現在、学校給食の運営は厳しい状態で値上げを抑えているのが現状です。そして給食費は1度下げますと、2度と上げることが難しいのが現状であるということを理解していただきたい。

**再々質問** 私は原油高騰・食料費の高騰による緊急経済政策の一環として質問しております。1度下げると上げるのは難しいという答弁は質問を理解していないのではないですか、更に研究が進み、もっと給食費が下がれば、尚、いいのではないですか？そういう視点から研究をしていって下さい。

### 学校給食費補助の質問を終えて

会議規則により、これ以上質問することが出来ず、質問と答弁が、かみ合わないまま終わりとなりましたが、給食費の問題は、私が最も意識している問題の1つですので再度、研究して提言していきます。

### 学校給食の安全について

6月議会では学校施設の安全について質問をさせていただきましたが。今回は学校給食の安全について質問します。

BSEや中国冷凍餃子の問題に続き、今回は、カビや残留農薬などで汚染された事故米の不正転売問題で、国民は食の安全に非常に不安を感じています。深谷市民も例外ではありません。

**質問** 岡部学校給食において7月に、2度にわたり異物混入事故が発生しました。安全でなければならぬ、学校給食で起きてしまった事故ですが、立て続けて事故が発生したと言うことは、何か他に根本的な問題があるのではないですか。再発防止の観点から事故の経緯と再発防止策について聞かせて下さい。



▲岡部給食センター

**答弁** 平成20年7月4日、岡部給食センターで調理した給食に野菜切断機のプラスチック部品の一部が破損し、混入する事故が発生し、混入したスープを食べた岡部中学校2年生の生徒が口の中が赤くなるケガを負い、病院で診察を受けました。この事故を受け再発防止に努めていましたが、同7月9日に岡部小学校の給食「ちゃんぽん麺」に鉄釘が混入し、口に入れた児童が気付き、吐き出すという事故が起きてしまいました。教育委員会としましては、岡部給食センターへの安全指導の徹底を図ると共に、学校施設の立ち入り調査を実施したほか、食材納入業者への立ち入り調査、指導の徹底を行い、再発防止に努めております。

### その他、コミュニティバス「くるりん」について

質問をさせていただきました。  
執行部の説明では、11月か12月の広報「ふかや」に特集を組み、試行運行についての考え方などを掲載するとのことです。



## 最近の活動報告



深谷を舞台とした、映画「傘」の撮影が、花園・ハーズショッピングセンターで行なわれました。



花いっぱい運動の一環で、荒川中部土地改良事務所の呼びかけで小前田地区を流れる「蟹沢排水路」に地元の皆さんと花の苗を植えました。



上：「ふかや祭り」に、小前田上と本町の屋台囃保存会の皆さんが参加しました。  
下：私も、ふかや祭りに参加して神輿を担ぎました。



来年4月開校予定の(仮称)東都医療大学を視察してきました。



8月14日に開催された「はなぞの納涼夏祭り」です。



8月24日に行なわれました、小前田上地区子ども祭りの時に同時開催された、ふれあいサロンの風景です。

# 清水健一連絡先

〒369-1246 深谷市小前田2406-8  
TEL 048-584-0717

FAX 048-584-0396

ホームページ: <http://www.shimizu-kenichi.jp> (ブログ公開中)

E-mail: [info@shimizu-kenichi.jp](mailto:info@shimizu-kenichi.jp)



### プロフィール

- 昭和36年1月27日生まれ (47才)
- 家族構成 父、妻、子供3人 (6人家族) 犬 (オス) 1匹 (名前ショコラ)
- 埼玉県立熊谷工業高校 卒業
- 社団法人深谷青年会議所 第35代理事長
- 深谷市PTA連合会 会長
- 深谷市立花園小学校 PTA会長
- 埼玉県立深谷高校 PTA会長
- 深谷市子どもサポート市民会議 副会長
- 花園地区青少年健全育成会副会長
- 花園商工会青年部長

このレポートは旧花園地域には折込により全戸配布しており、他の地域の皆様には年2回郵送させていただきます。郵送希望の方を紹介していただければ郵送させていただきますのでFAXやメールでは是非、御紹介して下さい。